

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2019年7月31日

ミサワホーム特別協力

「開校 100 年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—」展

kommt ans bauhaus!

きたれ、バウハウス

2019. 08.03 sat - 09.23 mon

バウハウス開校 100 年
きたれ、バウハウス —アート/デザインの原点—

新潟市美術館
NIIGATA MUSEUM OF ART

ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

Embassy of Hungary
Tokyo

inter.office

ALJ

On the occasion of
100 Jahre bauhaus

100 bauhaus 100 japan

新潟市美術館での本展覧会ポスター

- 2019年8月3日より、バウハウス開校100周年を祝う巡回展がスタート
- 新潟市美術館を皮切りに全国5都市を巡回、2020年五輪期間は東京で開催
- 日本で唯一のバウハウス専門美術館「ミサワバウハウスコレクション」から計310点を出品

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、造形学校バウハウスの開校 100 周年を記念した巡回展「開校 100 年 きたれ、バウハウス - 造形教育の基礎 -」展に特別協力します。また、株式会社ミサワホーム総合研究所（代表取締役社長 千原勝幸）の学芸員（^{そまだ} 杉田佳穂）は企画監修を務めます。

1919 年にドイツで設立された造形学校「バウハウス」は、14 年間という短い活動期間でありながら、デザインや建築、造形教育において、その思想が今もなお世界に多大な影響を与えています。開校 100 周年を迎えるにあたり、昨年、日本におけるバウハウス研究の中心的な役割を担ってきた研究者が集まり、「バウハウス 100 周年委員会」が発足しました。本委員会は、「バウハウス 100 ジャパン」プロジェクトと称し、2020 年まで日本各地で展覧会やセミナー等各種イベントの開催、バウハウスの研究総括などを行っていきます。長年にわたりバウハウスを研究しているミサワホーム総合研究所の学芸員（杉田 佳穂）も本委員会に参画しています。

ミサワホームは、商品開発におけるデザインポリシーを「シンプル・イズ・ベスト」とし、年月を経ても愛され続ける飽きのこないデザインの実現を目指しています。バウハウスにおいて 80 年以上も前にデザインされた作品が、今もなお高く評価されていることは、ものづくりという共通の視点において学ぶことが多く、ミサワホームは、1989 年より収集を始め、現在では、作品約 1,500 点、資料約 1,200 点、芸術関連蔵書約 13,000 冊を所蔵する世界でも有数のコレクターとなりました。1996 年には日本で唯一のバウハウス専門美術館「ミサワバウハウスコレクション」を開館し、毎年異なるテーマで企画展を開催しているほか、国内外の美術館に出品・企画協力するなど、芸術・文化振興に貢献しています。

このたび、バウハウス 100 周年委員会は、「バウハウス 100 ジャパン」プロジェクトのメインイベントとして、新潟県・兵庫県・香川県・静岡県・東京都の全国 5 都市の美術館を巡る展覧会「開校 100 周年 きたれ、バウハウス - 造形教育の基礎」を開催します。2020 年の東京五輪開催期間中は、東京ステーションギャラリーにて展示を行うため、世界中のバウハウスファンにも多くの作品をご覧いただける機会となっています。

この展覧会において、ミサワホーム総合研究所の学芸員は企画監修を務め、ミサワホームは特別協力企業として、バウハウスコレクションから計 310 点を出品します。今回の展覧会では、これまでミサワバウハウスコレクションで積み上げてきた研究の知見を活かし、実際にバウハウスで行われた授業を体験できる仕掛けや、工房での教育とそこから生み出されたデザインの成果などを紹介することで、「バウハウスとは何か」という問いを深められる展示となっています。また、ヴァシリー・カンディンスキーの「小さい世界（版画集・12 点組）」や、世界でもファンの多いマルセル・ブロイヤーの「クラブアームチェア B3（ヴァシリー）」（1928-1929 年製造）などミサワホームが所蔵する作品を中心に、東京国立近代美術館、宇都宮美術館など国内の美術館が収集してきた珠玉の作品を展示するとともに、バウハウスで学んだ 4 名の日本人留学生の活動を紹介する初めての機会となります。

ミサワホームは、これまで収集したバウハウスコレクションや研究成果を活用し、多くの方に良質なデザインに触れていただく機会を提供することで、これからも芸術や文化の発展に寄与していきます。

【展覧会名称】

開校 100 年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

【展覧会構成】

第 I 章 学校としてのバウハウス

第 II 章 基礎教育

第 III 章 工房教育とその展開

第 IV 章 総合の位相

第 V 章 バウハウスの日本人学生

※展示される作品は、美術館ごとに一部入れ替わります。

【開催館・会期】

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| 1) 新潟市美術館 | 2019 年 8 月 3 日 (土) ~ 9 月 23 日 (月祝) |
| 2) 西宮市大谷記念美術館 | 2019 年 10 月 12 日 (土) ~ 12 月 1 日 (日) |
| 3) 高松市美術館 | 2020 年 2 月 8 日 (土) ~ 3 月 22 日 (日) |
| 4) 静岡県立美術館 | 2020 年 4 月 11 日 (土) ~ 5 月 31 日 (日) |
| 5) 東京ステーションギャラリー | 2020 年 7 月 17 日 (金) ~ 9 月 6 日 (日) |

後 援：ドイツ連邦共和国大使館/ドイツ連邦共和国総領事館、
スイス大使館、ハンガリー大使館、日本建築学会他

特別協力：ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館

協 力：専門学校 桑沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社アトリエ ニキティキ
企画監修：深川雅文、杉田佳穂（ミサワホーム総合研究所）

協 賛：アウディ ジャパン株式会社、株式会社インターオフィス

展示作品の一部（ミサワホーム蔵）



マルセル・ブロイヤー
「クラブ・アームチェア B3 (ヴァシリー)」



ヴァシリー・カンディンスキー
「小さな世界」(版画集・12点組)



ヨースト・シュミット
「1923年のバウハウス展のポスター」

以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課
奥本博之 佐野遥香

TEL 03-3349-8088/FAX 03-5381-7838

E-mail: Haruka_Sano@home.misawa.co.jp